

あざぶ まちづくり研究会だより

苧生区回覧板でもこのたよりをご覧ください
まち研ブログは「苧生の研究」で検索してみてください

Vol. 133.

'24. 5. 1

初夏の活動予定

5月 1日(水)まちづくり研究会便り 133 号発行

5月 11日(土)13:30~14:30 川清掃

(悪天候、増水の場合は翌日に延期します)

飛び入り歓迎 参加賞アリマス

早ければ5月15日ごろからゲンジボタルから羽化し始めると予想しています。今年が一番ボタルを見つけるのはどなたでしょう？ゲンジの一番ボタルを見つけたらホタル橋にのぼりを掲げる予定です。昨年のはぼり1本で終わってしまいましたが、今年は何本あげられるでしょうか。お楽しみです。まち研メンバーも不定期に観察しています。ホタルを見るために農道に車で入るのはご遠慮ください。

春の活動報告

3月 1日(金)まちづくり研究会便り 132 号発行

3月 10日(日)川清掃(9人)、放流の打ち合わせ

3月 27~29日幼虫のカウント(5水槽4人)

3月 30日(土)ホタルの幼虫放流

ホタル橋付近に90頭ほどのゲンジボタルの幼虫、
蓮田と他の水路にあわせて600頭ほどのヘイケボタル
の幼虫を放流しました

(羽化箱2つに観察用のヘイケの幼虫60を残しました)

●折戸川にホタルを飛ばそう会と随時情報交換

ヒデソンの「苧生の研究」

まち研の歴史担当、苧生生まれのヒデソンこと水野秀之が
苧生の豆歴史を思い出話風にお届けします

4月7日(日)苧生行政区新役員として、苧生神社の祈年祭に参列して思ったこと。

この春、断り切れず区の会計職を引き受けたのだが、この時期、引継ぎ等覚えなくてはならないことだらけで頭を抱える毎日。そんなドタバタの中、会計職の役目として苧生神社の祈年祭に参加。祝詞(のりと)を聞きながら本殿の中に腰掛け、周りを見渡す。桜の咲くこの季節、うちの祖父も父も、このような行事に参加したのだらうなど、そんなことを思い浮かべた。

昭和初期に建てられたこの苧生神社の拝殿は、うちのひいじいさんの今吉さんが区長の時だったと聞いている。その時は大工さんを我が家に泊めるなど、かなり精力的に携わったそうだ。

この祈年祭が終わると、引き続き隣の平和神社で慰霊祭に参列。日露戦争や先の大戦で戦死された方々が祀られているのがこの平和神社だ。先の大戦で戦死された方の中には、ラバウル、レイテ、ガダルカナルなどの激戦地で亡くなられた方も祀られている。

この平和に見える苧生でも、時代に翻弄された歴史があった。あの満州の地で、日本とロシアが壮絶な戦い



平和祭
平和神社へと進む神職と氏子
そのあとに参列者が続く

を繰り広げた奉天会戦には、うちの曾祖父の兄、水野清五郎さんも参戦。その直後に病で亡くなられ、ここに祀られている。

一昔前まで使われていた「なおる」という言葉をご存じだろうか。清五郎さんには、おかねさんという若い妻がおられた。清五郎さん亡き後、その弟である私の曾祖父の今吉が、長男としての責務とおかねさんを妻として引き継ぐことになって、今の水野家がある。「なおる」とは、つまりそういうことをいう。

清五郎さんは平和神社に、今吉さんは苧生神社に、しっかりと名が残っている。(水野秀之)

※ あざぶまちづくり研究会 連絡先 ※
苧生公民館ポスト または 加藤志津香 090-8181-0546